注３ **大学番号：私０４０**

届出

［平成２４年度設置］

計画の区分：学部の学科の設置

注１

東北工業大学　工学部　環境エネルギー学科

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人　東北工業大学
平成２５年５月１日現在

作成担当者

法人本部事務局（企画調査課）

法人本部事務局次長
兼企画調査課長　樋野（ヒノ）　隆一（リュウイチ）

電話番号　０２２－３０５－３３２３

（夜間）　０２２－３０５－３３００

ＦＡＸ　０２２－３０５－３３６２

ｅ－mail　hino1058@tohtech.ac.jp

大学事務局（学務課）

学務課長　川村（カワムラ）　弘昭（ヒロアキ）

電話番号　０２２－３０５－３１６９

（夜間）　０２２－３０５－３３００

ＦＡＸ　０２２－３０５－３１６３

ｅ－mail　kawamura@tohtech.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院　・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には，表題には設置時の旧名称を記載し，その下欄に（　　）書きにて，現在の名称を記載してください。
例）　〇〇大学　△△学部
（□□学部）
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例）
・学部の設置の場合：「〇〇大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学　△△学科」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院　〇〇研究科」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」
※「留意事項実施状況報告書」の場合は，表題を修正してください。

３　大学番号の欄については、平成２５年３月１５日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目　　次

１　調査対象大学等の概要等　P1

２　授業科目の概要　P5

３　施設・設備の整備状況，経費　P11

４　既設大学等の状況　P12

５　教員組織の状況　P15

６　留意事項に対する履行状況等　P23

７　その他全般的事項　P24

・別紙1　FD委員会規程　P27

・別紙2　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見　P28

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学 校 法 人 東 北 工 業 大 学

（２）大　学　名

東 北 工 業 大 学

（３）大学の位置

〒９８２－８５７７
宮城県仙台市太白区八木山香澄町３５番１号

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合，本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には，複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長			
学　　長	（ サワダ ヤスジ ） 沢田　康次 （平成２０年４月）	（ ミヤギ ミツノブ ） 宮城　光信 （平成２５年４月）	任期満了のため 平成25年4月1日(25)
学 部 長			
学科長等	（ イイヌマ　コウイチ ） 飯沼　恒一 （平成２４年４月）	（ミヤモト ユウイチ ） 宮本　裕一 （平成２４年４月）	人事異動に伴う変更 平成24年4月1日(24)

（注）・「変更状況」は，変更があった場合に記入し，併せて「備考」に変更の理由と変更年月日，報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成２３年度に報告済の内容　→（23）
平成２５年度に報告する内容　→（25）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば，「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば，そこに赤字で見え消し修正）するとともに，上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には，「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

（５）　調査対象学部等の名称，定員，入学者の状況等

（注）・　当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください。
・　様式は，平成２２年度開設の４年制の学科の場合（平成２５年度までの４年間）ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が３年以下の場合には欄を削除し，５年以上の場合には，欄を設けてください。）

（５）－①　調査対象学部等の名称，定員

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学部 環境エネルギー学科 学士（工学）	年 4	人 100	年次 人 －	人 400	

（注）・定員を変更した場合は，「備考」に変更前の人数，変更年月及び報告年度を（　）書きで記入してください。

（５）－②　調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２４年度		平成２５年度		平成２６年度		平成２７年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A　入学定員	100人 100 （－） ［－］	－人	100人 100 （－） ［－］	－人	人 （　） ［　］	人	人 （　） ［　］	人	0.73倍	
志願者数	252 （－） ［－］	－ （－） ［－］	198 （－） ［－］	－ （－） ［－］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］		
受験者数	247 （－） ［－］	－ （－） ［－］	194 （－） ［－］	－ （－） ［－］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］		
合格者数	190 （－） ［－］	（－） ［－］	125 （－） ［－］	（－） ［－］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］		
B　入学者数	84 （－） ［－］	－ （－） ［－］	63 （－） ［－］	－ （－） ［－］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］	（　） ［　］		
入学定員超過率 B／A	0.84		0.63							

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
・　（　）内には，編入学の状況について**外数で**記入してください。なお，編入学を複数年次で行っている場合には，（（　））書きとするなどし，その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「－」を記入してください。
・　［　］内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「入学定員超過率」については，**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出**してください。なお，計算の際は小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位まで記入してください。
・　「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

学年＼対象年度	平成２４年度		平成２５年度		平成２６年度		平成２７年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	[0] 85	[－] －	[0] 63	[－] －	[－] －	[－] －	[－] －	[－] －	1年次に転学科の学生1名含む(24)
２年次			[0] 84	[－] －	[－] －	[－] －	[－] －	[－] －	
３年次					[－] －	[－] －	[－] －	[－] －	
４年次							[－] －	[－] －	
計	[0] 85		[0] 147		[－] －		[－] －		

（注）・　数字は，平成２５年５月１日現在の数字を記入してください。
・　[　　]内には，留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・　短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については，**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数，留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数（内訳）			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合（a/b）
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成24年度入学者	84 人	1 人	平成24年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学（1人）	0.0 %
			平成25年度	0 人	0 人		
			平成26年度	－ 人	－ 人		
			平成27年度	－ 人	－ 人		
平成25年度入学者	63 人	0 人	平成25年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成26年度	－ 人	－ 人		
			平成27年度	－ 人	－ 人		
平成26年度入学者	－ 人	0 人	平成26年度	－ 人	－ 人		－ %
			平成27年度	－ 人	－ 人		
平成27年度入学者	－ 人	0 人	平成27年度	－ 人	－ 人		－ %
合　計	147 人	1 人					0.0 %

（注）・ 数字は，平成25年5月1日現在の数字を記入してください。

・ 各年度の入学者数については，該当年度当初に入学した人数を記入してください。（途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。）

・ 各年度の退学者数については，退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。

・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により，我が国の大学（大学院を含む。），短期大学，高等専門学校，専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。

・「入学者数に対する退学者数の割合」は，【当該対象年度の入学者のうち，平成25年度5月1日現在までに退学した学生数の合計】を，【当該対象年度の入学者数】で除した割合（%）を記入してください。その際，小数点以下第2位を四捨五入し，小数点以下第1位までを記入してください

・「主な退学理由」は，下の項目を参考に記入してください。その際，「就学意欲の低下（○人）」というように，その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学　・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

２　授業科目の概要

＜工学部　環境エネルギー学科＞

（１） 授業科目表

（環境エネルギー学科　エコロジーコース）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
教養教育科目	社会性	現代社会論	1前		2							兼 1	
		情報化社会の経済	1後		2							兼 1	
		市民と法	2前		2							兼 1	
		市民と政治	2後		2							兼 1	
		暮らしと心理学	2前		2							兼 1	
		産業社会と心理学	2後		2							兼 1	
		日本近代史	2後		2							兼 1	
		日本国憲法	3前		2							兼 1	
	人間性	現代思想と科学	2後		2							兼 1	
		技術と人間	3前		2							兼 1	
		現代の倫理	3後		2							兼 1	
		現代の哲学	4前		2							兼 1	
	文化性	表象文化論	1前		2							兼 1	
		メディア文化論	1後		2							兼 1	
		日本文化史	3前		2							兼 1	
		文化の諸相	3後		2							兼 2	
	科学力	現代科学総論Ａ	3前		2		1						オムニバス
		現代科学総論Ｂ	3後		2		1						オムニバス
	人間力	日本語表現	1後		2							兼 1	
		ビジネスマナー	3前		2							兼 1	
	表現力	英語ⅠＡ	1前	2								兼 2	
		英語ⅠＢ	1後	2								兼 2	
		英語ⅡＡ	2前	2								兼 2	
		英語ⅡＢ	2後	2								兼 2	
		英会話Ａ	1前		1							兼 1	
		英会話Ｂ	1後		1							兼 1	
		資格英語Ａ	2前		1							兼 1	
		資格英語Ｂ	2後		1							兼 1	
		フランス語Ａ	1前		2							兼 1	
		フランス語Ｂ	1後		2							兼 1	
		ドイツ語Ａ	1前		2							兼 1	
		ドイツ語Ｂ	1後		2							兼 1	
		韓国語Ａ	1前		2							兼 1	
		韓国語Ｂ	1後		2							兼 1	
		中国語Ａ	1前		2							兼 1	
		中国語Ｂ	1後		2							兼 1	
		フランス語演習	2前		1							兼 1	
		ドイツ語演習	2前		1							兼 1	
		韓国語演習	2前		1							兼 1	
		中国語演習	2前		1							兼 1	
	健康	スポーツ実技Ⅰ	1前		1							兼 6	
		スポーツ身体科学	1後		1							兼 6	
		スポーツ実技Ⅱ	2前		1							兼 5	
		健康論	2後		2							兼 3	
	学際	特別課外活動Ⅰ	1前～4後		2								
		特別課外活動Ⅱ	1前～4後		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門教育科目	数学への旅	1前	2			1						
	化学への旅	1前	2				1					
	物理への旅	1前	2								兼 1	
	エネルギー概論	1前	2			1	1					
	生命への旅	1前	2				1					
						1						担当教員の定年退職により、職種変更
	環境問題通論	1前	2			~~2~~	1				兼 1	授業科目の充実を図り、担当教員を増員(25)
	Web技術入門	1前	2				1					
						5						平成25年5月
	環境・エネルギーセミナー	1前	1			~~6~~	7					採用予定者辞退のため、1名減員(25)
	基礎化学	1後	2								兼 1	
						1						
	物理学	1後	2			~~2~~					兼 1	担当教員の定年退職により、職種変更(25)
	微分積分学Ⅰ	1後	2			~~1~~					兼 1	担当教員の定年退職により、職種変更(25)
	生態学基礎	1後	2								兼 1	
						5						平成25年5月
	環境科学総論	1後	2			~~6~~	7					採用予定者辞退のため、1名減員(25)
	環境ビジネス	1後	2			2						
	プログラミング及び同演習Ⅰ	1後	3				1					
	代数・幾何	2前	2								兼 1	
	環境生物学	2前	2				1					
	地域環境計画及び同演習	2前	3				1					
	地域環境調査法	2後	2			1						
	コンピュータシステム	2後	2								兼 1	
	基礎化学実験	2後	2				1				兼 2	実験の充実を図り、担当教員を増員(25)
	環境マネジメント及び同演習	2後	3				2					
	地域環境調査実習	3前	2			2	2					
	保全生態学	3後	2				~~1~~				兼 1	時間割編成上のため、担当者の変更(25)
	環境経営学	3後	2				1					
	環境・エネルギー研修Ⅰ	3後	1			6	7					
	環境・エネルギー研修Ⅱ	4前	3			6	7					
	環境・エネルギー研修Ⅲ	4後	3			6	7					
	循環型社会形成論	1前		2		1	1					授業科目の充実を図り、担当教員を増員(25)
	エネルギー各論	1後		2		1						
	地理情報システム	2前		2			1					
											兼 2	実験の充実を図り、担当教員を増員(25)
	基礎物理実験	2前		2							~~兼 1~~	
	地球環境科学	2前		2		1						
	プログラミング及び同演習Ⅱ	2前		3		1						
	無機化学	2前		2							兼 1	
	統計学	2後		2							兼 1	
	地域環境情報	2後		2			1					
	有機化学	2後		2			1					
	大気環境工学	2後		2		1						
	エネルギー変換工学	2後		2		1						
	エコデザイン	3前		2			1				兼 2	
	アルゴリズム	3前		2			1					
	コンピュータネットワークⅠ	3前		2		1						
	エネルギーデバイス工学	3前		2		1						
	環境・エネルギー基礎研修	3前		1		6	7					
	水環境工学	3前		2		1						
	環境関係法	3前		2							兼 1	
	エネルギー制御工学	3前		2		1						
	再生可能エネルギー	3前		2		1						
	電気化学	3前		2			1					
	統計解析	3後		2			1					
	環境応用数学	3後		2			1					
	データベース	3後		2							兼 1	
	環境リモートセンシング	3後		2		1						
	環境市民活動論	3後		2		1	1					
	コンピュータネットワークⅡ	3後		2		1						
	ＣＡＤ技術	3後		2							兼 1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門教育科目	スマートグリッド	3後		2		1						
	資源循環工学	4前		2		1						
	ヒューマンエコロジー	4前		2			1				~~兼 1~~	平成25年度新規採用教員に変更(25)
	環境アセスメント	4前		2		1					兼 1	
	環境・エネルギー特別課外活動Ⅰ	1前～4後		2								
	環境・エネルギー特別課外活動Ⅱ	1前～4後		2								
	他コース開講科目群	3前～4後		10								
	他学科開講科目群	1後～4後		4								
	他大学開講科目群	1後～4後		4								

（環境エネルギー学科　エネルギーコース）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
教養教育科目	社会性	現代社会論	1前		2							兼 1	
		情報化社会の経済	1後		2							兼 1	
		市民と法	2前		2							兼 1	
		市民と政治	2後		2							兼 1	
		暮らしと心理学	2前		2							兼 1	
		産業社会と心理学	2後		2							兼 1	
		日本近代史	2後		2							兼 1	
		日本国憲法	3前		2							兼 1	
	人間性	現代思想と科学	2後		2							兼 1	
		技術と人間	3前		2							兼 1	
		現代の倫理	3後		2							兼 1	
		現代の哲学	4前		2							兼 1	
	文化性	表象文化論	1前		2							兼 1	
		メディア文化論	1後		2							兼 1	
		日本文化史	3前		2							兼 1	
		文化の諸相	3後		2							兼 1	
	科学力	現代科学総論Ａ	3前		2		1						オムニバス
		現代科学総論Ｂ	3後		2		1						オムニバス
	人間力	日本語表現	1後		2							兼 1	
		ビジネスマナー	3前		2							兼 1	
	表現力	英語ⅠＡ	1前	2								兼 2	
		英語ⅠＢ	1後	2								兼 2	
		英語ⅡＡ	2前	2								兼 2	
		英語ⅡＢ	2後	2								兼 2	
		英会話Ａ	1前		1							兼 1	
		英会話Ｂ	1後		1							兼 1	
		資格英語Ａ	2前		1							兼 1	
		資格英語Ｂ	2後		1							兼 1	
		フランス語Ａ	1前		2							兼 1	
		フランス語Ｂ	1後		2							兼 1	
		ドイツ語Ａ	1前		2							兼 1	
		ドイツ語Ｂ	1後		2							兼 1	
		韓国語Ａ	1前		2							兼 1	
		韓国語Ｂ	1後		2							兼 1	
		中国語Ａ	1前		2							兼 1	
		中国語Ｂ	1後		2							兼 1	
		フランス語演習	2前		1							兼 1	
		ドイツ語演習	2前		1							兼 1	
		韓国語演習	2前		1							兼 1	
		中国語演習	2前		1							兼 1	
	健康	スポーツ実技Ⅰ	1前		1							兼 6	
		スポーツ身体科学	1後		1							兼 6	
		スポーツ実技Ⅱ	2前		1							兼 5	
		健康論	2後		2							兼 3	
	学際	特別課外活動Ⅰ	1前～4後		2								
		特別課外活動Ⅱ	1前～4後		2								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手		備考
専門教育科目	数学への旅	1前	2			1						
	化学への旅	1前	2				1					
	物理への旅	1前	2								兼 1	
	エネルギー概論	1前	2			1	1					
	生命への旅	1前	2				1					
						1						担当教員の定年退職により、職種変更
	環境問題通論	1前	2			~~2~~	1				兼 1	授業科目の充実を図り、担当教員を増員(25)
	Web技術入門	1前	2				1					
						5						平成25年5月
	環境・エネルギーセミナー	1前	1			~~6~~	7					採用予定者辞退のため、1名減員(25)
	基礎化学	1後	2								兼 1	
						1						
	物理学	1後	2			~~2~~					兼 1	担当教員の定年退職により、職種変更(25)
	微分積分学Ⅰ	1後	2			~~1~~					兼 1	担当教員の定年退職により、職種変更(25)
	生態学基礎	1後	2								兼 1	
						5						平成25年5月
	環境科学総論	1後	2			~~6~~	7					採用予定者辞退のため、1名減員(25)
	環境ビジネス	1後	2			2						
	プログラミング及び同演習Ⅰ	1後	3				1					
	代数・幾何	2前	2								兼 1	
	微分積分学Ⅱ	2前	2				1					
	電磁気学及び同演習	2前	3			1						
	無機化学	2前	2								兼 1	
	コンピュータシステム	2後	2								兼 1	
	基礎化学実験	2後	2				1				兼 2	実験の充実を図り、担当教員を増員(25)
	電気回路及び同演習	2後	3				1					
	エネルギー変換工学	2後	2			1						
	電気化学	3前	2				1					
	エネルギー工学実験	3前	2			4						
	環境・エネルギー研修Ⅰ	3後	1			6	7					
	環境・エネルギー研修Ⅱ	4前	3			6	7					
	環境・エネルギー研修Ⅲ	4後	3			6	7					
	循環型社会形成論	1前		2		1	1					授業科目の充実を図り、担当教員を増員(25)
	エネルギー各論	1後		2		1						
	地理情報システム	2前		2			1					
											兼 2	実験の充実を図り、担当教員を増員(25)
	基礎物理実験	2前		2							~~兼 1~~	
	地球環境科学	2前		2		1						
	プログラミング及び同演習Ⅱ	2前		3		1						
	地域環境調査法	2後		2		1						
	統計学	2後		2							兼 1	
	地域環境情報	2後		2			1					
	有機化学	2後		2			1					
	大気環境工学	2後		2		1						
	再生可能エネルギー	3前		2		1						
	エコデザイン	3前		2			1				兼 2	
	アルゴリズム	3前		2			1					
	コンピュータネットワークⅠ	3前		2		1						
	エネルギーデバイス工学	3前		2		1						
	環境・エネルギー基礎研修	3前		1		6	7					
	水環境工学	3前		2		1						
	環境関係法	3前		2							兼 1	
	エネルギー制御工学	3前		2		1						
	保全生態学	3後		2			~~1~~				兼 1	時間割編成上のため、担当者の変更(25)
	環境経営学	3後		2			1					
	統計解析	3後		2			1					
	環境応用数学	3後		2			1					
	データベース	3後		2							兼 1	
	環境リモートセンシング	3後		2		1						
	環境市民活動論	3後		2		1	1					
	コンピュータネットワークⅡ	3後		2		1						
	ＣＡＤ技術	3後		2							兼 1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	備考	
専門教育科目	スマートグリッド	3後		2		1						
	資源循環工学	4前		2		1						
	ヒューマンエコロジー	4前		2			1				兼 ~~1~~	平成25年度新規採用教員に変更(25)
	環境アセスメント	4前		2		1					兼 1	
	環境・エネルギー特別課外活動Ⅰ	1前～4後		2								
	環境・エネルギー特別課外活動Ⅱ	1前～4後		2								
	他コース開講科目群	3前～4後		10								
	他学科開講科目群	1後～4後		4								
	他大学開講科目群	1後～4後		4								

（注）・　認可申請書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
・　設置認可時の授業科目全て（兼任，兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成２４年度に認可された大学等は設置認可時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
　なお，昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
・　兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
・　授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成〇年〇月　提出予定」と記入してください。）
・　「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成１９年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（２）授業科目数

（環境エネルギー学科　エコロジーコース）

設置時の計画 必修	設置時の計画 選択	設置時の計画 自由	設置時の計画 計	変更状況 必修	変更状況 選択	変更状況 自由	変更状況 計	備考
科目 32	科目 80	科目 0	科目 112	科目 32 [0]	科目 80 [0]	科目 0 [0]	科目 112 [0]	

（環境エネルギー学科　エネルギーコース）

設置時の計画 必修	設置時の計画 選択	設置時の計画 自由	設置時の計画 計	変更状況 必修	変更状況 選択	変更状況 自由	変更状況 計	備考
科目 32	科目 80	科目 0	科目 112	科目 32 [0]	科目 80 [0]	科目 0 [0]	科目 112 [0]	

（注）・　未開講である場合や，配当年次に関わらず，教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など，別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに，［　］内に，届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
・　履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

（注）・　設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・　授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} \quad \frac{0}{112} \quad = \quad 0.00$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て，小数点第２位までを記入してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	運動場の一部を利用し、新校舎を建設したため（25） 借用面積　85.22㎡ 借用期間　20年間
	校舎敷地	213,877㎡ ~~210,782㎡~~	0㎡	0㎡	213,877㎡ ~~210,782㎡~~	
	運動場用地	55,942㎡ ~~59,037㎡~~	0㎡	0㎡	55,942㎡ ~~59,037㎡~~	
	小計	269,819㎡	0㎡	0㎡	269,819㎡	
	その他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡	
	合計	269,819㎡	0㎡	0㎡	269,819㎡	

(2) 校舎	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	備考
	62,915.36㎡ ~~61,584.61㎡~~ (62,915.36㎡) ~~(61,584.61㎡)~~	0㎡ (　0㎡)	0㎡ (　0㎡)	62,915.36㎡ ~~61,584.61㎡~~ (62,915.36㎡) ~~(61,584.61㎡)~~	新校舎建設のため（25）

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	51 ~~48~~ ~~49~~ 室	19 ~~21~~ ~~19~~ 室	143 ~~142~~ ~~141~~ 室	9 室 0 （補助職員 ~~1~~ 人）	1 室 （補助職員 0人）	大学全体 新校舎建設により教室を増加し、また、学生の修学環境整備のため演習室等の使用用途を変更したため（25） 情報処理学習施設の補助職員が退職したため（25） 学生の修学環境整備のため教室等の使用用途を変更したため（24）

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	備考
	環境エネルギー学科	12 ~~13~~ 室	教員の人事異動のため（25）

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書〔うち外国書〕冊	学術雑誌〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	工学部 環境ｴﾈﾙｷﾞｰ学科	242,750〔54,902〕 ~~237,298〔54,567〕~~ ~~233,277〔53,866〕~~ (242,255〔54,848〕) ~~(236,323〔54,465〕)~~ ~~(232,617〔53,794〕)~~	1,759〔603〕 (1,759〔603〕)	〔　〕 (　〔　〕)	3,318 ~~3,295~~ ~~3,257~~ (3,318) ~~(3,295)~~ ~~(3,257)~~	(　)	(　)	図書等補充整備のため（25） 大学全体で共用分 図書242,255冊 学術雑誌1,759種 図書等補充整備のため（24） 大学全体で共用分 図書232,442冊 学術雑誌1,759種
	計	242,750〔54,902〕 ~~237,298〔54,567〕~~ ~~233,277〔53,866〕~~ (242,255〔54,848〕) ~~(236,323〔54,465〕)~~ ~~(232,617〔53,794〕)~~	1,759〔603〕 (1,759〔603〕)	〔　〕 (　〔　〕)	3,318 ~~3,295~~ ~~3,257~~ (3,318) ~~(3,295)~~ ~~(3,257)~~	(　)	(　)	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	2,976.85㎡	410席	260,000冊	大学全体

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	3,576.71㎡	野球場2面	~~フットサル場2面~~ ~~サッカー場1面~~	大学全体 新校舎の建設のため、サッカー場の一部を利用し、残りの敷地をフットサル場に改修したため（25）
		テニスコート5面	バレーコート4面	
		アーチェリー場	400mトラック1面	
		武道場・剣道場	弓道場	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	備考
経費の見積り	教員１人当り研究費等	450千円	450千円	図書購入費	860千円	1,040千円	1,040千円	図書購入費にはデータベースの整備費含む
	共同研究費等	5,000千円	5,000千円	設備購入費	5,000千円	2,400千円	2,400千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,530千円	1,290千円	1,300千円	1,310千円	－	－

学生納付金以外の維持方法の概要	補助金収入、資産運用収入、手数料収入等

（注）・　設置時の計画を，申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成２５年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「（25）」を「備考」に赤字で記入してください。
　なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延）がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

４　既設大学等の状況

大学の名称	東北工業大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学部								宮城県仙台市太白区八木山香澄町35－1	
知能エレクトロニクス学科	4	120	0	480	学士（工学）	0.91	昭和39年度		
情報通信工学科	4	120	0	480	学士（工学）	1.04	昭和39年度	同上	
建築学科	4	120	0	480	学士（工学）	0.94	昭和41年度	同上	
都市マネジメント学科	4	80	0	320	学士（工学）	0.77	昭和42年度	同上	平成23年より建設システム工学科から名称変更
環境情報工学科		－	－	－			平成13年度		平成24年より学生募集停止
環境エネルギー学科	4	100	0	400	学士（工学）	0.73	平成24年度	同上	
ライフデザイン学部								宮城県仙台市太白区二ツ沢６番	
クリエイティブデザイン学科	4	80	0	320	学士（ﾃﾞｻﾞｲﾝ）	0.85	平成20年度		
安全安心生活デザイン学科	4	80	0	320	学士（ﾗｲﾌﾃﾞｻﾞｲﾝ）	0.81	平成20年度	同上	
経営コミュニケーション学科	4	60	0	240	学士（経営ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ）	1.08	平成20年度	同上	

大学の名称	東北工業大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
工学研究科 博士(前期)課程 電子工学専攻	2	5	0	10	修士(工学)	0.50	平成5年度	宮城県仙台市太白区八木山香澄町35－1	
通信工学専攻	2	5	0	10	修士(工学)	1.20	平成4年度	同上	
建築学専攻	2	5	0	10	修士(工学)	1.20	平成4年度	同上	
土木工学専攻	2	5	0	10	修士(工学)	0.30	平成4年度	同上	
デザイン工学専攻		－	－	－			平成12年度		平成24年より学生募集停止
環境情報工学専攻	2	5	0	10	修士(工学)	1.10	平成12年度	同上	
ライフデザイン学研究科 博士(前期)課程 デザイン工学専攻	2	5	0	10	修士(ﾃﾞｻﾞｲﾝ工学)	0.50	平成24年度	宮城県仙台市太白区二ツ沢６番	
工学研究科 博士(後期)課程 電子工学専攻	3	2	0	6	博士(工学)	0.00	平成7年度	宮城県仙台市太白区八木山香澄町35－1	
通信工学専攻	3	2	0	6	博士(工学)	0.16	平成6年度	同上	
建築学専攻	3	2	0	6	博士(工学)	0.33	平成6年度	同上	
土木工学専攻	3	2	0	6	博士(工学)	0.33	平成7年度	同上	
デザイン工学専攻		－	－	－			平成14年度		平成24年より学生募集停止
環境情報工学専攻	3	2	0	6	博士(工学)	0.16	平成14年度	同上	
ライフデザイン学研究科 博士(後期)課程 デザイン工学専攻	3	2	0	6	博士(ﾃﾞｻﾞｲﾝ工学)	0.00	平成24年度	宮城県仙台市太白区二ツ沢６番	

（注）・　本調査の対象となっている大学等の設置者（学校法人等）が設置している全ての大学（学部，学科），大学院（専攻）及び短期大学（学科）について，それぞれの学校種ごとに，平成２５年５月１日現在の上記項目の情報を記入してください。その際，ＡＣ対象学部学科等についても当該様式に記入してください。（ただし，専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。）

・　「定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第２位まで（小数点第３位を切り捨て）を，学科（短期大学において専攻課程を設置している場合には，専攻課程）単位で記入してください。

・　学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員と収容定員は「－」とし，「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

５　教員組織の状況

（１） 担当教員表

＜工学部　環境エネルギー学科＞

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授（学科長）	飯沼　恒一（65）	平成24年4月	環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 物理学 微分積分学Ⅰ 環境科学総論 ｴﾈﾙｷﾞｰ工学実験 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 地球環境科学 大気環境工学 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修	専	教授	飯沼　恒一（65）	平成24年4月	環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 物理学 微分積分学Ⅰ 環境科学総論 ｴﾈﾙｷﾞｰ工学実験 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 地球環境科学 大気環境工学 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修	平成24年4月 職名の変更（24）
										平成25年３月 飯沼教授定年退職(25)
					専	教授	丸尾　容子（51）	平成25年4月	環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 ｴﾈﾙｷﾞｰ工学実験 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 地球環境科学 大気環境工学 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修	平成25年度新規採用（25）
専	教授	山田　一博（48）	平成24年4月	環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 環境ビジネス 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 循環型社会形成論 地域環境調査法 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 環境市民活動論 資源循環工学 地域環境調査実習 現代科学総論Ｂ	専	教授	山田　一裕（48）	平成24年4月	環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 環境ビジネス 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 循環型社会形成論 地域環境調査法 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 環境市民活動論 資源循環工学 地域環境調査実習 現代科学総論Ｂ	平成24年4月 氏名（漢字）の訂正（24）
					専	教授	山田　一裕（49）	平成25年4月	環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 環境ビジネス 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 循環型社会形成論 地域環境調査法 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 環境市民活動論 資源循環工学 地域環境調査実習	平成25年4月 時間割編成上のため、 担当科目の変更（25）
専	教授	江成　敬次郎（65）	平成24年4月	数学への旅 環境問題通論 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 水環境工学 環境アセスメント 地域環境調査実習 現代科学総論Ａ	専	教授	江成　敬次郎（66）	平成25年4月	数学への旅 環境問題通論 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 水環境工学 環境アセスメント 地域環境調査実習	平成25年4月 時間割編成上のため、 担当科目の変更（25）
専	教授	齋藤　輝文（55）	平成24年4月	環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 物理学 環境科学総論 環境ビジネス 電磁気学及び同演習 ｴﾈﾙｷﾞｰ変換工学 ｴﾈﾙｷﾞｰ工学実験 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ及び同演習Ⅱ ｴﾈﾙｷﾞｰﾃﾞﾊﾞｲｽ工学 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修	専	教授	齋藤　輝文（56）	平成25年4月	環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 物理学 環境科学総論 環境ビジネス 電磁気学及び同演習 ｴﾈﾙｷﾞｰ変換工学 ｴﾈﾙｷﾞｰ工学実験 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ及び同演習Ⅱ ｴﾈﾙｷﾞｰﾃﾞﾊﾞｲｽ工学 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 現代科学総論A	平成25年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更（25）

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	宮本　裕一 (61)	平成24年4月	エネルギー概論 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 ｴﾈﾙｷﾞｰ工学実験 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ ｴﾈﾙｷﾞｰ各論 再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 スマートグリッド エネルギー制御工学	専	教授 （学科長）	宮本　裕一 (61)	平成24年4月	エネルギー概論 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 ｴﾈﾙｷﾞｰ工学実験 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ ｴﾈﾙｷﾞｰ各論 再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 スマートグリッド エネルギー制御工学	平成24年4月 職名の変更（24）
専	教授	浅井　和弘 (66)	平成24年4月	環境問題通論 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 ｴﾈﾙｷﾞｰ工学実験 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾈｯﾄﾜｰｸⅠ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 環境ﾘﾓｰﾄｾﾝｼﾝｸﾞ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀﾈｯﾄﾜｰｸⅡ						平成25年3月 浅井教授定年退職(25)
専	准教授	穴澤　正宏 (47)	平成24年4月	環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ及び同演習Ⅰ 微分積分学Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 環境応用数学	専	准教授	穴澤　正宏 (48)	平成25年4月	環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾐﾝｸﾞ及び同演習Ⅰ 微分積分学Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 環境応用数学 現代科学総論B	平成25年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更（25）
専	准教授	内田　美穂 (45)	平成24年4月	化学への旅 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 基礎化学実験 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 有機化学 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修						
専	准教授	加藤　善大 (40)	平成24年4月	エネルギー概論 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 電気化学 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修						
専	准教授	小祝　慶紀 (48)	平成24年4月	環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 環境経営学 統計解析 環境市民活動論 環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ及び同演習 地域環境調査実習	専	准教授	小祝　慶紀 (49)	平成25年4月	環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 環境問題通論 循環型社会形成論 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 環境経営学 統計解析 環境市民活動論 環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ及び同演習 地域環境調査実習	平成25年4月 教育課程の充実を図るため、 担当科目の変更（25）
専	准教授	小濱　暁子 (39)	平成24年4月	生命への旅 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 保全生態学 環境生物学 地域環境調査実習	専	准教授	佐野　哲也 (35)	平成25年4月	生命への旅 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 環境生物学 地域環境調査実習 ヒューマンエコロジー	平成25年１月 小濱准教授退職のため 平成25年度より新任教員に 変更（25）

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
専	准教授	近藤　祐一郎 (42)	平成24年4月	環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ 地理情報システム 地域環境情報 エコデザイン 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修 地域環境計画及び同演習 環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ及び同演習						
専	准教授	佐藤　篤 (41)	平成24年4月	Web技術入門 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰｾﾐﾅｰ 環境科学総論 電気回路及び同演習 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅰ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅱ 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ研修Ⅲ アルゴリズム 環境・ｴﾈﾙｷﾞｰ基礎研修						

＜共通＞

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼任	講師	飯沼　恒一 (66)	平成25年4月	物理学 微分積分学Ⅰ	平成25年３月 飯沼教授定年退職のため、 平成25年度より職名、 担当科目の変更（25）
					兼任	講師	浅井　和弘 (67)	平成25年5月	環境問題通論	平成25年3月 浅井教授定年退職のため、 平成25年度より職名、 担当科目の変更（25）
兼担	教授	葛西重信 (52)	平成24年4月	基礎化学 無機化学 基礎化学実験 現代科学総論Ａ	兼担	教授	葛西重信 (53)	平成25年4月	基礎化学 無機化学 基礎化学実験	平成25年4月 時間割編成上のため、 担当科目の変更（25）
兼担	教授	島田　勉 (59)	平成25年4月	代数・幾何	兼任	講師	今井　秀雄 (65)	平成25年4月	代数・幾何	平成25年4月 時間割編成上のため、 担当者の変更（25）
兼任	講師	今井　秀雄 (64)	平成25年4月	代数・幾何						
兼担	教授	梅田　健太郎 (59)	平成24年4月	物理への旅 基礎物理実験	兼担	講師	鈴木　章二 (66)	平成24年4月	物理への旅 基礎物理実験	平成24年4月 担当者の変更（24）
					兼担	講師	鈴木　章二 (67)	平成25年4月	物理への旅	平成25年4月 時間割編成上のため、 担当科目の変更（25）
					兼担	教授	梅田　健太郎 (60)	平成25年4月	基礎物理実験	平成25年4月 時間割編成上のため、 担当者の変更（25）
兼担	教授	小川　淑人 (60)	平成25年4月	統計学						
兼担	准教授	片山　文雄 (39)	平成25年4月	市民と法 市民と政治 日本国憲法						
兼担	教授	小川　和久 (48)	平成25年4月	暮らしと心理学 産業社会と心理学						
兼担	教授	野家　伸也 (59)	平成25年4月	現代思想と科学 技術と人間 現代の倫理 現代の哲学						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼担	講師	高橋　秀太郎（37）	平成24年4月	表象文化論 日本語表現 現代科学総論Ｂ	兼担	准教授	高橋　秀太郎（38）	平成25年4月	表象文化論 日本語表現	平成25年4月 時間割編成上及び昇任のため、 職名・担当科目の変更（25）
兼担	准教授	丹治　道彦（50）	平成27年10月	文化の諸相						
兼担	教授	高橋　克明（63）	平成25年4月	英語ⅡＡ 英語ⅡＢ	兼任	講師	柴田　尚子（36）	平成25年4月	英語ⅡＡ 英語ⅡＢ	平成25年4月 時間割編成上のため、 担当者の変更（25）
兼担	講師	鈴木　淳（37）	平成25年4月	資格英語Ｂ	兼担	講師	鈴木　淳（37）	平成24年4月	英語ⅠＡ 英語ⅠＢ 資格英語Ｂ	平成24年4月 担当科目の追加（24）
					兼担	教授	高橋　克明（64）	平成25年4月	資格英語Ｂ	平成25年4月 時間割編成上のため、 担当者の変更（25）
兼任	講師	小林　亜希（28）	平成25年4月	資格英語Ａ	兼担	講師	鈴木　淳（38）	平成25年4月	資格英語Ａ	平成25年4月 時間割編成上のため、 担当者の変更（25）
兼担	理事長	岩崎　俊一（85）	平成26年4月	現代科学総論Ａ	兼担	理事長	岩崎　俊一（86）	平成25年4月	現代科学総論Ａ	平成25年4月 時間割編成上のため、 開講期の変更（25）
兼担	教授	石川　善美（63）	平成24年4月	現代科学総論Ａ	兼担	教授	稲村　肇（67）	平成25年4月	現代科学総論Ａ	平成25年4月 教育課程の充実のため、 担当者の変更（25）
兼担	教授	西野　敏信（67）	平成26年4月	現代科学総論Ａ	兼担	教授	村岡　一信（59）	平成25年4月	現代科学総論Ａ	平成25年4月 教育課程の充実のため、 担当者の変更（25）
兼担	教授	本多　直樹（62）	平成26年4月	現代科学総論Ａ	兼担	教授	本多　直樹（63）	平成25年4月	現代科学総論Ａ	平成25年4月 時間割編成上のため、 開講期の変更（25）
					兼担	助教	鈴木　博司（61）	平成25年4月	現代科学総論Ａ	平成25年4月 教育課程の充実を図るため 追加（25）
					兼担	准教授	梅田　弘樹（46）	平成25年4月	現代科学総論Ａ	平成25年4月 教育課程の充実を図るため 追加（25）
					兼担	准教授	福留　邦洋（42）	平成25年4月	現代科学総論Ａ	平成25年4月 教育課程の充実を図るため 追加（25）
					兼担	准教授	多田　美香（38）	平成25年4月	現代科学総論Ａ	平成25年4月 教育課程の充実を図るため 追加（25）
兼担	教授	村井　貞規（63）	平成26年4月	現代科学総論Ａ						
兼担	准教授	松田　勝敬（40）	平成26年4月	現代科学総論Ａ						
兼担	講師	新井　信幸（39）	平成26年4月	現代科学総論Ａ						
兼担	学長	沢田　康次（74）	平成26年10月	現代科学総論Ｂ	兼担	学長	宮城　光信（70）	平成25年10月	現代科学総論Ｂ	平成25年3月 沢田康次学長任期満了のため 担当者（学長）の変更（25）
					兼担	准教授	河野　公一（38）	平成25年10月	現代科学総論Ｂ	平成25年10月 教育課程の充実を図るため 追加（25）

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
					兼担	助教	小関　公明 (58)	平成25年10月	現代科学総論Ｂ	平成25年10月 教育課程の充実を図るため 追加（25）
					兼担	教授	今野　弘 (64)	平成25年10月	現代科学総論Ｂ	平成25年10月 教育課程の充実を図るため 追加（25）
兼担	教授	新井　信一 (65)	平成26年10月	現代科学総論Ｂ						
兼担	准教授	田村　英樹 (38)	平成26年10月	現代科学総論Ｂ						
兼担	准教授	堀　則男 (42)	平成26年10月	現代科学総論Ｂ						
兼担	講師	水野　文雄 (35)	平成26年10月	現代科学総論Ｂ	兼担	講師	水野　文雄 (36)	平成25年10月	現代科学総論Ｂ	平成25年4月 時間割編成上のため、 開講期の変更（25）
兼担	教授	高田　潤一 (67)	平成24年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ身体科学 スポーツ実技Ⅱ 健康論	兼任	講師	高田　潤一 (67)	平成24年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ身体科学 スポーツ実技Ⅱ 健康論	平成24年4月 退職に伴う職名等の変更（24）
					兼任	講師	松原　悟 (55)	平成25年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ身体科学	平成25年4月 時間割編成上のため、 担当者の変更（25）
兼担	助教	中島　千恵子 (64)	平成24年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ身体科学 スポーツ実技Ⅱ 健康論	兼担	講師	松生　香里 (39)	平成25年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ身体科学 スポーツ実技Ⅱ 健康論	平成25年3月 中島助教定年退職のため、 新規採用者に変更(25)
兼担	准教授	坂本　譲 (40)	平成24年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ身体科学 スポーツ実技Ⅱ 健康論						
兼任	講師	柴崎　徹 (70)	平成24年4月	生態学基礎 ﾋｭｰﾏﾝｴｺﾛｼﾞｰ	兼任	講師	遠藤　菜緒子 (39)	平成25年4月	生態学基礎 保全生態学	平成25年4月 時間割編成上のため、 担当者の変更（25）
兼任	講師	古賀　秀昭 (69)	平成25年4月	コンピュータシステム エネルギー工学実験	兼任	講師	門脇　正幸 (62)	平成25年4月	コンピュータシステム データベース	平成25年4月 時間割編成上のため、 担当者の変更（25）
兼任	講師	門脇　正幸 (62)	平成26年4月	データベース						
兼任	講師	高橋　雄志 (49)	平成25年4月	地域環境情報						
兼任	講師	石山　徳昭 (52)	平成26年4月	エコデザイン						
兼任	講師	氏家　清一 (57)	平成26年4月	エコデザイン						
兼任	講師	須藤　幸蔵 (66)	平成26年4月	環境関係法 環境アセスメント						
兼任	講師	捧　奈緒美 (32)	平成26年4月	CAD技術						
兼任	講師	木村　雅史 (33)	平成24年4月	現代社会論	兼任	講師	木村　雅史 (33)	平成24年4月	現代社会論 メディア文化論	平成24年4月 担当科目の追加（24）
兼任	講師	舛谷　謙二 (56)	平成24年4月	情報化社会の経済	兼任	講師	折原　裕 (63)	平成24年10月	情報化社会の経済	平成24年4月 担当者・授業開講期の変更（24）
兼任	講師	吉原　健雄 (46)	平成25年10月	日本近代史 日本文化史						
兼任	講師	仁平　政人 (33)	平成24年4月	メディア文化論	兼任	講師	仁平　政人 (33)			平成24年4月 担当者の変更（24）
兼任	講師	岩瀬　広明 (68)	平成24年4月	文化の諸相 フランス語Ａ フランス語Ｂ フランス語演習						
兼任	講師	荒井　富雄 (64)	平成26年10月	文化の諸相						

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名（年齢）	就任予定年月	担当授業科目名	
兼任	講師	浅野　純子 (52)	平成26年4月	ビジネスマナー						
兼任	講師	村山　雅夫 (70)	平成24年4月	英語ＩＡ 英語ＩＢ	兼担	准教授	高橋　哲徳 (45)	平成24年4月	英語ＩＡ 英語ＩＢ	平成24年4月 担当者の変更（24）
兼任	講師	秀田　葉子 (50)	平成25年4月	英語ⅡＡ 英語ⅡＢ						
兼任	講師	Mark　Jabusch (62)	平成24年4月	英会話Ａ 英会話Ｂ	兼任	講師	JOHN LORNE SPRY (64)	平成24年4月	英会話Ａ	平成24年4月 担当者の変更（24）
					兼任	講師	Mark　Jabusch (62)	平成24年10月	英会話Ｂ	
					兼担	講師	Simon Daniel Cooke (41)	平成25年10月	英会話Ｂ	平成25年4月新規採用のため 担当者の変更（25）
兼任	講師	藤原　五雄 (68)	平成24年4月	ドイツ語Ａ ドイツ語Ｂ						
兼任	講師	権　来順 (55)	平成24年4月	韓国語Ａ 韓国語Ｂ 韓国語演習						
兼任	講師	高　燕平 (58)	平成24年4月	中国語Ａ 中国語Ｂ 中国語演習	兼任	講師	范　軍 (48)	平成24年4月	中国語Ａ 中国語Ｂ 中国語演習	平成24年4月 担当者の変更（24）
					兼任	講師	范　軍 (49)	平成24年4月	中国語Ａ 中国語Ｂ	平成25年4月時間割編成上のため 担当者の変更（25）
					兼任	講師	高　燕平 (59)	平成25年4月	中国語演習	平成25年4月時間割編成上のため 担当者の変更（25）
兼任	講師	渡辺　修 (67)	平成25年4月	ドイツ語演習						
兼任	講師	植木　章三 (50)	平成24年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ身体科学						
兼任	講師	松原　悟 (54)	平成24年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ身体科学	兼担	講師	本田　春彦 (33)	平成24年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ身体科学	平成24年4月 担当者の変更（24）
兼任	講師	伊藤　常久 (40)	平成25年4月	健康論	兼担	講師	本田　春彦 (34)	平成25年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ身体科学 スポーツ実技Ⅱ 健康論 現代科学総論B	平成25年4月 時間割編成上のため 担当科目の追加（25）
兼任	講師	池田　晃一 (50)	平成24年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ身体科学	兼任	講師	池田　晃一 (51)	平成25年4月	スポーツ実技Ⅰ スポーツ身体科学 スポーツ実技Ⅱ	平成25年4月 時間割編成上のため 担当者の変更（25）
兼任	講師	犬塚　剛 (44)	平成25年4月	スポーツ実技Ⅱ						
兼任	講師	土井　豊 (56)	平成25年4月	スポーツ実技Ⅱ						
兼任	講師	河西　敏幸 (44)	平成25年4月	健康論	兼任	講師	河西　敏幸 (45)	平成25年4月	スポーツ実技Ⅱ	平成25年4月 時間割編成上のため 担当科目の変更（25）

（注）・　申請書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
　なお，当該設置に係る学部，学科等に所属しない教員であって，全学共通，学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は，〈〇〇学部　△△学科〉の箇所を「共通」とし，表を分けて作成してください。
・　後任が決まっていない場合には，「後任未定」と記入してください。
・　辞任者は「備考」に退職年月，氏名，理由を記入してください。
・　年齢は，**「設置時の計画」には当該学部等の就任時における満年齢**を，**「変更状況」には平成２５年５月１日現在の満年齢**を記入してください。
・　教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合（「新規採用」，「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。）は，変更後の状況を記入するとともに，その理由，後任者が決まっていない場合は，「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し，及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は，当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し，大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」，変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
　なお，設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は，「備考」に「（教員審査省略）」及びその変更の理由，変更年度（　）書き等のみを記入してください。

（２） 専任教員数

設置時の計画					変更状況					年齢構成	
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計	教員の定年年齢	定年を延長している教員数
6 （ 6 ）	7 （ 7 ）	0 （ 0 ）	0 （ 0 ）	13 （ 13 ）	5 ［△１］	7 ［ 0 ］	0 ［ 0 ］	0 ［ 0 ］	12 ［ △１ ］	65 歳	1 名

（注）・「設置時の計画」には，設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに，（ ）内に開設時の状況を記入し，
「変更状況」には，平成２５年５月１日現在（就任予定の者を含む）の状況を記入するとともに，［ ］内に設置時の計画
との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「年齢構成」には，当該学部における教員の定年年齢および，平成２５年５月１日現在，特例等により定年を超えて専任教員として
採用されている教員数を記入してください。

（３） 専任教員辞任等の理由

番　号	職　位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1	准教授	小濱　暁子	自己都合による退職
2			
3			

（注）・　専任教員の辞任等の理由について，可能な限り具体的に記入してください。

（４） 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見：
　小濱准教授は、家族別離を解消することに伴う退職である。小濱准教授の担当科目を専任教員1名の補充で対処することとした。また、小濱准教授を直接の指導教員とする学生は本年度はおらず、実際上の支障はない。

学生への周知方法：
　各学年のオリエンテーション時、およびシラバス上にて全学生に周知している。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

６　留意事項に対する履行状況等

区　　分	留　意　事　項	履　行　状　況	未履行事項についての実施計画
	該当なし		

（注）・　「設置時」には，当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）　と，それに対する履行状況等について，具体的に記入し，報告年度を（　　）書きで付記してください。（認可で設置された学部学科等のみ。）

・　「設置計画履行状況調査時」には，当該設置計画履行状況調査の結果，付された留意事項に対する履行状況等について，具体的に記入するとともに，その履行状況等を裏付ける資料があれば，添付してください。

・　定員管理に係る留意事項への履行状況は，指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。

・　該当がない場合には，「該当なし」と記入してください。

７　その他全般的事項

＜工学部　環境エネルギー学科＞

（１） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	該当なし

（注）・　１～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・　設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については
適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ活動含む）

①　実施体制

ａ　委員会の設置状況

・平成18年4月1日よりFD委員会を設置した。また、FD委員会の中に委員長と幹事委員10名（平成25年度は11名）からなるFD企画部会および委員長と幹事委員6名からなるFD推進部会を設置し、FD活動の推進を図っている。

・FD委員会規程は別紙１のとおり。

ｂ　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

・平成24年度FD委員会：　8回開催（31名中、28名以上出席）

・平成24年度FD企画部会：　12回開催（11名中、5名以上出席）

ｃ　委員会の審議事項等

・「大学評価アンケート」について

・「大学院アンケート」について

・「授業評価アンケート」の評価方法等について

・授業評価システムについて

・教員表彰（教育分野）について

・教員表彰（研究・社会活動等分野）について

・教育改善シンポジウムの開催について

・授業参観の実施について

・意見交換会の開催について

・成績評価について

②　実施状況

ａ　実施内容

・　新任教員説明会

・　教員相互の授業参観

・　授業方法についての意見交換会

・　授業研究懇話会（授業参観・意見交換会）報告書作成

・　教育改善シンポジウム

・　大学評価アンケート

・　大学院アンケート

・　授業評価アンケート

・　成績評価

b　実施方法

・新任教員説明会については、平成25年4月3日に全新任教員を集め、教務関係、学生関係、事務関係等について、それぞれの代表者がガイダンスを行った。

・教育改善シンポジウムについては、全教員を対象とし、平成25年2月18日に外部講師を招き「他大学の大学改革と将来構想について」の講演を開催した。なお、シンポジウムの実施報告書を作成し、全教員に配布予定である。

・授業参観については、平成24年11月5日～11月30日の期間、全科目の授業を対象として実施した。参観者は、本学の「良い授業のための指針」を基にした意見等を授業担当者に伝え、授業の改善を図った。

・授業方法についての意見交換会については、平成24年12月7日に開催し、授業参観の感想や「良い授業」についての意見を交換した。また、意見交換会の報告書を全教員に配布し、教育の改善を図った。

・大学評価アンケートについては、全学生に対し行い、授業や学生生活、施設などに対する学生の意見や要望を集約し、今後の指導や施設改善等を行う際の資料として活用している。

　また、結果については、本学ポータルサイトの掲示板に公表し学生に周知した。

・授業評価アンケートについては、各教員が担当授業の際に実施し、授業についての学生の意見を集め、より良い授業への改善に努めている。

　また、アンケートの自由記述への回答については、本学ポータルサイトの掲示板に公表し学生へのフィードバックを行った。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・新任教員説明会は、平成25年4月3日に実施した。新任教員の全員（13名）が参加した。

・授業方法についての意見交換会については、平成24年12月7日に実施し、教員24名が参加した。

・教育改善シンポジウムについては、平成25年2月18日に実施し、教員39名が参加した。

・大学評価アンケートについては、平成25年2月13日の成績発表時に全学生に対しマークカードを配布し、その場で記入させて回収する方式で実施。ほぼ全員が提出した。

・授業評価アンケートについては、前期・後期の授業終了までに各教員が実施。専任・兼任含め、前期489科目、後期392科目で実施した。

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

・授業アンケートに記載された要望等について、教員個々人が担当科目毎に回答することにより、授業の改善に役立てている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a　実施の有無及び実施時期

・実　　施：　有

・実施時期：　前期・後期の各期間中（年2回）

b　教員や学生への公開状況，方法等

・アンケート結果は、科目担当教員に配付している。また、アンケートの自由記述に対する回答を本学ポータルサイトの掲示板に公表し、学生に公開している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
　　「②実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 自己点検・評価等に関する事項

①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

別紙２のとおり

②　自己点検・評価報告書

ａ　公表（予定）時期

・平成２５年７月公表予定（平成２３年度自己点検・評価報告書）

ｂ　公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し，大学等（約１００箇所）に配布。

・大学ホームページ上に公開。

③　認証評価を受ける計画

・平成25年度に評価機関（公益財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受けるべく，学内で準備中。

（注）・　設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また，「①　設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については，できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお，「②　自己点検・評価報告書」については，当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（４） 情報公表に関する事項

○　設置計画履行状況報告書

ａ　ホームページに公表の有無　（　有　・　無　）

ｂ　公表時期（未公表の場合は予定時期）　（　平成24年6月1日　）

別紙１

東北工業大学ＦＤ委員会規程

（趣旨）

第１条　この規程は、東北工業大学ＦＤ委員会（以下「委員会」という。）の組織及び運営等について定めるものとする。

（目的）

第２条　委員会は、東北工業大学（以下「本学」という。）におけるＦＤ活動を組織的に行い、もって本学の諸活動を向上させることを目的とする。

（定義）

第３条　この規程における「ＦＤ」とは、本学に所属する個々の教員が本学における種々の義務（教育・研究・管理・社会奉仕等）を達成するために必要な専門的能力を維持し、改善するためのあらゆる方策や活動をいう。

（任務）

第４条　委員会は、次の各号に掲げる事項を任務とする。

（１）　ＦＤの企画、立案に関すること

（２）　ＦＤに関し、提言及び指導・助言を行うこと

（３）　ＦＤに関する調査、資料収集及び分析に関すること

（４）　ＦＤに関する講演会、研修会等を企画し、実施すること

（５）　その他ＦＤに関すること

（組織）

第５条　委員会は、学長が指名する次に掲げる委員を持って構成する。

（１）　副学長

（２）　教務部長

（３）　各学科長

（４）　共通教育センター長

（５）　大学事務局長

（６）　その他必要と認められる者　　若干名

２　委員会は、必要に応じて、委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

３　委員会は、ＦＤに関する専門的事項を調査・検討するため、専門委員会を置くことができる。専門委員会に関する事項は、別に定める。

（委員の任期）

第６条　委員の任期は、２年とし、重任を妨げない。

２　委員に欠員が生じたときの後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長等）

第７条　委員会に委員長及び副委員長を置き、委員長は教育研究担当の副学長を、副委員長は将来構想・広報担当の副学長をもって充てる。

２　委員長は、委員会を招集し、その議長となる。委員長に事故あるときは、副委員長がこれに当たる。

（会議）

第８条　委員会は、委員の３分の２以上の出席がなければ会議を開くことはできない。

附　則

１　この規程は、平成18年４月１日から施行する。

２　この規程は、平成22年10月１日から改正施行する。

別紙２

設置の主旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

環境エネルギー学科

１．　申請書に記した本学科の設置の趣旨・目的

東北工業大学工学部環境エネルギー学科設置届書（平成 23 年 6 月）に記した本学科の教育研究目標は、以下の通りである。

「自然共生社会実現のための地球生態系の適切な保全・修復技術と、低炭素社会実現のためのエネルギー開発・管理技術を有機的に結びつける能力を有し、それを持続可能な社会の実現をめざして創造的・統合的に活用できる人材を育成する。」

２．　趣旨・目的の達成状況

１）　入学者確保の状況

① 入学志願者数と入学者数

募集人員 100 名に対して、開設２年度（平成 25 年度）は、志願者の総数（延べ人数）198 名と、開設初年度（平成 24 年度）の 252 名に比較すると、27%の減少となり、平成 23 年度の環境情報工学科時の志願者総数 184 名の水準に戻ってしまった。これは、初年度の新設置効果が薄れ、また、H23 年度の環境情報工学科就職内定率が 80%（H24 年度同 98%）と低迷したことなどが影響したものと考えられる。さらに、入学者数は 63 名と定員割れを起こし、定員を満たしていない状況であるため、本学科の魅力を伝える適切な広報活動を一層注力して行っていく必要がある。入試部をはじめとする大学あげての広報のてこ入れや、本学科教職員の新学科への期待を込めた精力的な高校訪問実施などにより、本学科の存在とその教育方針を高校側に知らせる一層の努力が必要である。

② 入学者の分布

平成 25 年度の入学者の出身高校別割合は、普通高校 67%、工業高校 25%、産業・商業・農業高校 8%と、普通高校が 2/3 を占めたが、これは昨年度と比較して 10 数%減である。文理融合型の教育を目指している本学科としては、生物の入試科目導入などの浸透を図り、普通高校割合増への方向に一層の努力が必要である。また、出身地別にみると、宮城県内 62%、青森県内 3%、岩手県内 13%、秋田県内 5%、山形県内 5%、福島県内 10%、その他 2%で、内自宅通学は 64%、自宅外通学 36%となった。女子の比率は 8%で昨年の環境情報工学科 7%に比べて微増となった。

③ 入学者の性向

入学１か月であるが、全般に１年生の学業に対する姿勢は良好で、志望理由を書くレポートでも、大震災と環境エネルギー問題を結びつけた志望動機についての記述が大半である。将来、社会に貢献したい、役立ちたい、との思いが強く、進路との整合性が明確で、今後学問への取組みに注力してくれることが期待できる。

２）　在学生の状況

環境情報工学科在学生に対して、入学時に提示された講義は原則的に全て開講され、さらに、環境エネルギー学科生へのカリキュラムについても、環境情報工学科生として受講・単位取得が可能なものを準備し、有機的に両学科での教育を推進している。

３）　教育および学習環境

① 教育の状況

特にガイダンスにおいて実施した「おともだち作戦」では、初対面のグループ 5～6 名間で各自の自己紹介や、あらかじめ設定した大学周辺での提案（杜の都、昼食、パンダ、ご当地ヒーロー、エネルギーの発信）など環境エネルギーを踏まえた発想を即興で練り、全体発表させる試みで、全員が自信を持った発表を行っていた。引続き、アクティブラーニングの一環として、昨年同様 3 ヶ月後を目標に環境エネルギー問題を論題とした、グループ討議「ディベート」を実施して、各人の環境エネルギー分野における自己の意見醸成を図る。こうした導入教育を通じて、本学科独自の動機付け教育プログラムの確立を図る。

導入教育とは別に、環境問題通論、エネルギー概論などの専門科目の講義も始まり、後期からは、演習や学外学習（H24 年度は火力発電所、ごみ焼却炉、水処理場を見学）を取り入れたプログラムを履修させる。

② 学習環境

キャンパス全体としては、緑が多く、何より静かであり、教育研究を行う場として良い立地条件にある、との印象を多くの学生、教職員双方から持たれている。ただし、演習室、実習室に関して、3 年次の演習室が 4 年生の実習室を兼ねることになるので、狭隘になることは避けられない。来年以降、学生の作業場所確保の観点からも空間の利用と管理に一層の工夫が必要である。また、サテライトキャンパスとして、仙台市中心にあるロビーを教育研究の市民交流の発表の場として、積極的な活用を図る。

4）　教員の資質の維持向上の方策

環境情報工学科生も対象としたものであるが、学生の授業アンケートを実施している。「取り扱う範囲が広すぎて要点が判りにくい」「専門性をもっと身につけたい」など、厳しい指摘もあった。これらのアンケート結果は個々の教員に通知され、次年度の授業改善に生かされることになっている。そのほか、新任教員は、「大学の教育と運営等のガイダンス」「ISO 新人教育セミナー」に参加して初任者研修を行った。さらに、個々の教員は、FD 委員会が毎年開催している「教育シンポジウム」に積極的に参加し、教育改善に対する意識向上を図っている。

5）　総括評価・所見

本学科設置 2 年目であり、まだまだ未知な部分が多いが、本学科は以上述べてきたように、その教育目標に向かって順調に歩みを始めたと言えよう。しかし、志願者および入学者の確保の問題、および、入学者に対する適切な動機付け教育プログラムの開発等に関しては、今後とも、より一層の注力が必要である。さらに、2 年後の卒業生に対する就職支援も大きな課題である。環境情報工学科の実績を十分生かすとともに、新しい就職先の開拓にも今のうちから取り組むことが必要である。

また、本学科は、持続可能な社会実現を標榜する学科である。当然、その教育研究の成果が、大震災後の地元地域に生かされないといけないし、地元地域もそれを望んでいるものと思われる。これについては、昨年度市民を対象として実施したサテライトキャンパスでの連続オープン講座「環境と経済～環境問題を経済学で読み解くと～」などを開催し、市民の方から好評を得た。今後は、こうした活動を学生を巻き込んだ教育研究プログラムの開発につなげていくことが重要であり、そうすることで、本学科の教育目標達成に一歩近づくことができると考えている。